

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月19日 (2009.11.19)

【公表番号】特表2001-525363(P2001-525363A)

【公表日】平成13年12月11日 (2001.12.11)

【出願番号】特願2000-523987(P2000-523987)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/232	(2006.01)
A 6 1 K	9/107	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	5/14	(2006.01)
A 6 1 P	5/24	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	13/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	19/06	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	25/06	(2006.01)
A 6 1 P	25/08	(2006.01)
A 6 1 P	25/20	(2006.01)
A 6 1 P	25/22	(2006.01)
A 6 1 P	25/24	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	31/10	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	33/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)
A 6 1 P	39/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/232
A 6 1 K	9/107
A 6 1 K	45/00
A 6 1 P	1/04

A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	5/24	
A 6 1 P	7/02	
A 6 1 P	7/04	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/02	
A 6 1 P	9/06	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	13/02	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	19/06	
A 6 1 P	21/02	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	25/08	
A 6 1 P	25/20	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	31/10	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	33/02	
A 6 1 P	33/06	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/08	
A 6 1 P	39/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	37/02	

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成21年9月25日(2009.9.25)**【誤訳訂正 1】****【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0 0 4 4**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【0 0 4 4】**

本明細書で使用した「治療物質」なる語は、哺乳動物、特にヒトに、オメガ - 3 脂肪酸油と有利に共投与できる、水に溶けにくい薬物または水に溶けにくい薬物の混合物を意味する。「水に溶けにくい薬物」とは、水に対して不溶性である、即ち、20 で水1000部あたり約5部未満の水溶度を有する薬物を意味する。

【誤訳訂正 2】**【訂正対象書類名】**明細書**【訂正対象項目名】**0 0 5 5**【訂正方法】**変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 5 】

本明細書で使用した「親水性溶媒系」なる語は、水に溶けにくい治療物質に関する（オメガ - 3 脂肪酸油以外の）溶媒または共溶媒および / または約 2 0 より大きい H L B を有する共界面活性剤を含む系を意味する。親水性溶媒系成分の例は、エタノール、アルキレングリコール、例えばプロピレングリコール、ポリエチレングリコール、ポリオキシプロピレンブロックコポリマー、グリコフロール、トランスクトール、ジメチルイソソルビドおよびその混合物を含む。好ましい親水性溶媒系成分は、1 , 2 - プロピレングリコール、エタノール、並びに平均分子量が 1 0 0 0 未満であるかそれに等しいポリエチレングリコールの、個々またはこれらの組合せである。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 5 6 】

より好ましい親水性溶媒系成分は、1 , 2 - プロピレングリコールおよびエタノールの、個々またはこれらの組合せである。本明細書で親水性溶媒系に関して使用した「少量」なる語は、前濃縮物に存在する成分の約 1 0 重量% 未満の量、好ましくは約 5 重量% 未満、最も好ましくは製剤に存在する治療物質の量 より少ない量を意味する。